

第 41 回 日本医学放射線学会秋季臨床大会案内(2)

理事長 大友 邦
第41回秋季臨床大会会長 伊藤 勝陽

第 41 回日本医学放射線学会秋季臨床大会を、第 65 巻第 1 号でお知らせしましたとおり、下記の要領で開催いたします。多数ご参加下さいますようお願い申し上げます。

記

期 日：平成 17 年 10 月 6 日(木)、7日(金)、8日(土)
会 場：広島国際会議場
〒730-0811 広島市中区中島町 1-5(平和記念公園内)
TEL：082-242-7777

I. 秋季臨床大会

1. 特別講演
2. シンポジウム
 - 1) PET
 - 2) VR最前線
 - 3) 前立腺癌の放射線治療
 - 4) 放射線専門医教育
3. リフレッシュコース
4. 教育講演
5. フィルムリーディングセッション
6. 一般演題
7. 教育展示
8. ランチョンセミナー
9. サテライトセミナー
10. 市民公開講座

一般演題募集

発表形式はすべて展示です。放射線医学の全領域にわたって募集します。内容は研究発表、教育的発表、症例発表のいずれでも結構です。優秀な展示には優秀展示賞として表彰する予定です。

募集要項：演題申し込みは電子メールでの受付とします。

「第41回秋季臨床大会一般演題申込」を件名として、Wordの添付ファイルで演題名、所属、演者、共同演者、抄録をメールにてお送り下さい。受領確認のため、必ず返信先のメールアドレスを記載して下さい。1週間後までに受領確認の返信がない場合は、お手数ですが事務局までご連絡下さい。採否は大会長にご一任下さいますようお願い致します。

申込先メールアドレス：housya@hiroshima-u.ac.jp

* 詳細については大会ホームページをご参照下さい。

一般演題申込締切日：平成17年 6 月10日(金)

教育展示の募集：

教育的症例を下記の要領で募集致します。臓器，モダリティーは限定しません。

優秀な展示には成績優秀賞として表彰する予定です。

募集要項：申し込みはCD-ROMの受付とします。当日お配りする教育展示症例集の原稿及び画像のPCデータをCD-ROMに保存して下記事務局までお送り下さい。

大会時に展示するポスターと内容が大きく異ならないようお願い致します。

採否は大会長にご一任下さい。

* 詳細については大会ホームページをご参照下さい。

教育展示申込締切日：平成17年 7 月 8 日(金)

大会ホームページアドレス：<http://www.inaco.jp/housyasen41th/>

教育展示申込および問い合わせ先：

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

広島大学大学院医歯薬学総合研究科放射線医学

第41回日本医学放射線学会 秋季臨床大会事務局 和田崎晃一

TEL：082-257-5257 FAX：082-257-5259

E-mail：housya@hiroshima-u.ac.jp

II．併催研究会

頭頸部放射線研究会，胸部放射線研究会，電子情報研究会，救急放射線研究会が併催されます。

各研究会につきましては，本号の各会告をご参照下さい。

第 19 回 胸部放射線研究会案内

理事長 大友 邦
第41回秋季臨床大会会長 伊藤 勝 陽

第 19 回胸部放射線研究会を下記のごとく開催致します。

記

期 日：平成 17 年 10 月 7 日(金) 9:30~12:00, 14:00~16:00

会 場：広島国際会議場

〒730-0811 広島市中区中島町 1-5(平和記念公園内)

TEL: 082-242-7777

一般演題募集要項：

1. 病理診断まで行われ、画像または病理所見上興味ある症例報告
2. 演題申し込みと同時に抄録、画像のプリントアウト(裏面に所属、氏名を明記、画像は通常のプリンターで可)、抄録、画像のデジタルファイル、返信用はがきをお送りください。抄録はテキスト形式、画像は2枚までとし、FD、MO、CD-Rのいずれかのメディアを使用してください。メディアには所属、氏名、使用OS、画像の保存形式を明記ください。
3. 連絡先住所、電話番号、FAX番号、メールアドレスを明記した用紙を同封してください。
4. 演題数が多い場合の採否は代表幹事にご一任ください。

発表形式：PQ(ご自身のものをご持参ください)

口演で、主として画像診断と病理診断について討論を行う予定です。

演題締切日：平成 17 年 6 月末日必着

尚、一般演題に加えて特別企画を行う予定です。

送 付 先：〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

滋賀医科大学医学部放射線医学教室内

胸部放射線研究会事務局

TEL: 077-548-2288 FAX: 077-544-0986

E-mail: hqradio@belle.shiga-med.ac.jp

第 18 回 頭頸部放射線研究会案内

理事長 大友 邦
第41回秋季臨床大会会長 伊藤 勝陽

第 18 回頭頸部放射線研究会を下記の要領で開催致します。

記

期 日：平成 17 年 10 月 6 日(木) 9:30~12:00, 14:00~16:00

会 場：広島国際会議場

〒730-0811 広島市中区中島町 1-5(平和記念公園内)

TEL : 082-242-7777

演題募集要項：

- 1) 頭頸部の画像診断を中心にした研究発表。症例報告も可。
- 2) 演題申し込みと同時に、とじ込み用紙にて抄録と返信用はがきをお送り下さい。
尚、抄録データは下記アドレス宛にメールにてお送り下さい。
- 3) 演題数が多い場合の採否は、頭頸部放射線研究会会長にご一任下さい。

発表形式：PC(ご自身のものをご持参下さい)

演題締切日：平成 17 年 7 月 1 日(金) 消印有効

送付先：〒545-8585

大阪市阿倍野区旭町 1-4-3

大阪市立大学医学部放射線医学教室 井上 佑一

TEL : 06-6645-3831 FAX : 06-6646-6655

E-mail : radiology@med.osaka-cu.ac.jp

第 18 回 電子情報研究会案内

理事長 大友 邦
第41回秋季臨床大会会長 伊藤 勝陽

第 18 回電子情報研究会を下記のごとく開催しますので多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

記

世話人：電子情報委員会 担当理事・委員長 石垣武男

日程：第 1 日目 平成 17 年 10 月 6 日(木)9：00～17：00

会場：広島国際会議場

〒730-0811 広島市中区中島町 1-5「コスモス1」

TEL：082-242-7777

内容：PACS，医療情報，電子情報に関連したシンポ及びパネルディスカッションなどを予定

9：00～11：30 「医療連携のための情報総合化プロジェクト：IHE」の活用

11：30～12：00 JJ1017 V3.0解説

13：00～14：45 個人情報保護法：僭越ながらご質問にお答え

15：00～16：45 モニタを使った読影環境How-to編

(時間は，多少前後することがあります)

連絡先：〒263-8555

千葉市稲毛区穴川 4-9-1

放射線医学総合研究所

重粒子医科学センター医療情報室 安藤 裕

TEL：043-204-4185 FAX：043-206-3245

第 15 回 救急放射線研究会案内

理事長 大友 邦
第41回秋季臨床大会会長 伊藤 勝 陽

第 15 回救急放射線研究会を下記のごとく開催致します。多数ご参加下さいますようご案内申し上げます。

記

期 日：平成 17 年 10 月 8 日(土) 9:30~16:00
会 場：広島国際会議場
〒730-0811 広島県広島市中区中島町 1 番 5 号(平和記念公園内)

1. 一般演題
2. 石川メモリアルレクチャー

「外傷学会臓器損傷分類の改定を踏まえて - 放射線科医が知っておきたいポイント -」 中島康雄先生(聖マリアンナ医科大学)

演題募集要項：

- 1) 救急放射線医学に関して広く演題を募集します。自慢の症例や痛恨の症例、冷や汗の症例などの症例報告も大歓迎です。明日からの日常診療に役立つ演題を期待しています。ERセミナーに関連した演題も大歓迎です。
- 2) 本誌綴じ込みの抄録用紙にフロッピーディスクを同封の上、返信用はがきを添えてお申し込み下さい。フロッピーディスクには、使用したソフトをご記入下さい(尚、返却は致しません)。電子メールでも受け付けております。
- 3) 演題の採否は当番世話人にご一任下さい。

演題締切日：平成 17 年 6 月 15 日(水)

送 付 先：〒755-8505 山口県宇部市南小串 1-1-1
山口大学 放射線科
第 15 回当番世話人：松永尚文，事務局：岡田宗正
TEL：0836-22-2283 FAX：0836-22-2285
E-mail：yurad@yamaguchi-u.ac.jp

【ERセミナーのご案内】

4 年間で救急放射線医学の基礎を身につけるために本研究会の教育プログラムとしてERセミナーを企画しています。その道のプロから現場に即した講義が聞けます。

期 日：平成 17 年 10 月 8 日(土) 16:00~18:00
会 場：広島国際会議場
〒730-0811 広島県広島市中区中島町 1 番 5 号(平和記念公園内)

テ ー マ：骨・関節外傷の診断(司会：江原 茂先生)

- ・ 頸椎 江原 茂先生 (岩手医大)
- ・ 小児の肘関節 相原敏則先生 (自治医大)
- ・ 足関節 藤井正彦先生 (神戸大)

ERセミナーに関する問い合わせは、当番世話人松永尚文までお願い申し上げます。

救急疾患のフィルムリーディングを行います。成績優秀者には豪華商品があります。奮ってご参加下さい。

第 65 回 日本医学放射線学会総会・学術集会案内(I)

理事長 大友 邦
第 65 回日本医学放射線学会総会会長 遠藤 啓吾

第 65 回日本医学放射線学会総会・学術集会を下記の如く開催いたします。演題の申し込み要綱は 65 巻 5 号(7 月)の会告, 総会案内(II), および本会ホームページでお知らせいたします。

記

メインテーマ : 「明日をひらく放射線医療 - Radiology Tomorrow」

会場(学術発表): パシフィコ横浜 〒220-0012 横浜市西区みなとみらい 1-1-1

TEL : 045-221-2121

(機器展示)同上

理事会・代議員会	平成 18 年 4 月 6 日(木)
ACLS/BLS講習会	平成 18 年 4 月 6 日(木)
開会式	平成 18 年 4 月 7 日(金)
学術集会	平成 18 年 4 月 7 日(金)~4 月 9 日(日)
閉会式	平成 18 年 4 月 9 日(日)

1) 研究発表

- ・電子ポスター
- ・口演

2) 合同シンポジウム

3) 特別講演

4) 教育講演

5) CyberRad

6) イメージ・インタープリテーションセッション

7) その他

連絡先 : 〒371-8511 前橋市昭和町 3-39-22

群馬大学大学院医学系研究科 画像核医学

第 65 回日本医学放射線学会学術集会準備委員会事務局

担当 織内 昇(おりうち のぼる)

jrs2006@med.gunma-u.ac.jp

TEL : 027-220-8401 FAX : 027-220-8409

第 25 回 神経放射線ワークショップ案内

理事長 大友 邦

第 25 回神経放射線ワークショップを下記のごとく開催いたします。

記

当番世話人：細矢貴亮(山形大学)

期 日：平成 17 年 7 月 8 日(金)~9 日(土)

会 場：上山温泉 ホテル古窯

〒999-3292 山形県上山市葉山 5-20

TEL：023-672-5454 FAX：023-672-5459

内 容：症例検討，特別講演

登録締切日：平成 17 年 5 月 28 日(土)

申し込み方法：オンライン登録(<http://nrws.umin.ac.jp/>)または郵送

* 詳細は下記連絡先までE-mailにてお問い合わせ下さい。

連 絡 先：〒990-9585 山形県山形市飯田西二丁目 2 番 2 号

山形大学医学部放射線科

第 25 回神経放射線ワークショップ

当番世話人 細矢 貴亮

事務局 小田 敦子

TEL：023-628-5386 FAX：023-628-5389

E-mail：nrws25@kdw.kj.yamagata-u.ac.jp

事 務 局：〒228-8555 神奈川県相模原市北里 1-15-1

北里大学医学部放射線医学教室 菅 信一

TEL：042-778-8453 FAX：042-778-9436

E-mail：shkan@kitasato-u.ac.jp

新規学術集会認定申請単位決定等のお知らせ

理事長 大友 邦

以下の研究会等は、放射線科専門医更新単位取得制度学術集会としての単位が認められましたのでお知らせします。

3 単位	対象地域
CT Perfusion研究会(代表者：百島祐貴 他・慶應義塾大学)	全国
九州PET研究会(代表者：本田 浩・九州大学)	九州
2 単位	対象地域
オートプシー・イメージング学会(代表者：大橋教良・筑波メディカルセンター病院)	全国
東北内分泌画像研究会(代表者：石橋忠司・東北大学)	東北
宮城肝臓治療研究会(代表者：矢島義昭・仙台市立病院)	宮城
宮城神経放射線研究会(代表者：高橋昭喜・東北大学)	宮城
宮城県CT診断技術研究会(代表者：高橋昭喜・東北大学)	宮城
宮城県脳ドック研究会(代表者：糸山泰人 他・東北大学)	宮城
宮城総合画像研究会(代表者：高橋昭喜・東北大学)	宮城
宮城インターベンション研究会(代表者：田林暁一・東北大学)	宮城
青葉画像研究会(代表者：高橋昭喜・東北大学)	宮城
画像診断カンファレンス(代表者：高橋昭喜・東北大学)	宮城
腹部インターベンショナル勉強会(代表者：石橋忠司・東北大学)	宮城
心血管放射線カンファレンス(代表者：白土邦男・東北大学)	宮城
骨軟部画像診断カンファレンス(代表者：田澤 聡・公立刈田総合病院)	宮城
多摩画像医学カンファレンス(代表者：似鳥俊明・杏林大学)	関東
放射線診療安全向上研究会(代表者：藤田正人・京都第二日赤病院)	関西
救急放射線画像研究会(代表者：早川克己・京都市立病院)	関西

()内は申請時の学術集会代表者ですが、開催年によっては変更になることがあります。また対象地域は、地方の場合のみ申請時の開催地を記載しました。

学術集会単位申請書類の請求および提出先：
〒355-0055 埼玉県東松山市松風台4 - 62
日医放射線科専門医更新事務局
TEL：0493-35-4649 FAX：0493-35-4587
E-mail：ky2s-mtms@asahi-net.or.jp

学術集会の単位申請の受付は、毎年2月1日～2月末日と8月1日～8月末日の年2回です。前記期間内に申請して下さい。また、会の名称および事務局等が変更された場合は、上記にお知らせ下さい。

第 61 回心臓血管放射線研究会の御案内

理事長 大友 邦

第 61 回心臓血管放射線研究会を下記の如く開催いたします。

記

第 61 回研究会会長：木村文子

東京女子医科大学附属第二病院放射線科
〒116-8567 東京都荒川区西尾久 2-1-10
e-mail : president@jscvr.org

期 日：平成 17 年 7 月 23 日(土)

会 場：東京コンファレンスセンター・品川

東京都港区港南 1-9-36

TEL : 03-6717-7000

一般演題発表の他、特別講演、教育講演、症例検討会を予定しています。

一般演題募集要項：

- 1) 心大血管、末梢血管の画像診断と治療に関する演題を募集します。
- 2) 演題受付専用アドレス <61jscvr@jscvr.org> に日本語と英語で『演題名・発表者名・共同演者名・施設名』を送信してください。詳細は研究会ホームページ <<http://jscvr.org/>> をご覧ください。
- 3) 症例検討会での呈示症例がございましたら、研究会会長までご連絡ください。

発表形式：口演(コンピュータプレゼンテーション)

演題締切：平成 17 年 5 月 20 日(金)必着

代表幹事：栗林幸夫

慶應義塾大学医学部放射線診断科

事務局代表：内藤博昭

担当：山崎圭以子

国立循環器病センター放射線診療部内

TEL : 06-6833-5012 FAX : 06-6872-7486

e-mail : jscvr@jscvr.org

日本医学放射線学会雑誌の投稿論文の受付について

理事長 大友 邦
編集委員長 久保 敦 司

日本医学放射線学会雑誌(和文誌)は、2005年1号(1月発行)、2号(4月発行)、3号(7月発行)、4号(10月発行)をもって発行を終了します。

つきましては、和文の論文の投稿受付を、2005年5月末日で締め切りますので、ご投稿をご予定の方はご注意ください。

以後の論文投稿は、英文にて「Radiation Medicine」へ投稿をお願いいたします。

なお、会告、会報案内、地方会記事、資料、報告などの記事は、次年度も掲載する予定です。

日本医学放射線学会研究助成金制度の応募要領

理事長 大友 邦

【目的】 本助成金制度は日本医学放射線学会員の放射線医学に関する研究の機会を広げ、放射線医学水準の向上を図るため、若手研究者に研究助成金を贈り、将来に向けて若手研究者を育成する事を目的とする。

【対象】 放射線医学(基礎・臨床を問わず)に関する研究で、本研究助成の目的に合致するもの。

【応募資格】 平成 17 年 4 月 1 日現在40歳未満の日本医学放射線学会員で、大学等研究機関以外の施設に勤務の学会員、或いは大学等研究機関にあつては文部科学省等の科学研究費の申請ができない学会員。研究に当たっては国内外を問いません。

【助成金額】 1 件当たり100万円以内で総額500万円

【募集件数】 5 件前後

【応募締切】 平成 17 年 7 月 30 日(土)

【選考方法】 日本医学放射線学会が委嘱した選考委員会において選考し、理事会で決定する。

【助成決定】 当該年 10 月下旬

【応募要領】

1. 提出書類

所定の申請書を日本医学放射線学会研究助成制度事務局へ申し込み、記入後、期限までに下記へ提出して下さい(研究目的と研究概要は併せて2,000字以内)。申請書は日本医学放射線学会のホームページ(<http://www.radiology.or.jp/>)からダウンロードして下さい。

宛名を明記した返信用ハガキ 1 枚

2. 書類送付先

〒113-0033 東京都文京区本郷 5 丁目 1 番 16 号 NP-IIビル
社団法人日本医学放射線学会 日本医学放射線学会研究助成制度事務局
電話：03-3814-3077 FAX：03-5684-4075

【助成金受領者の義務】

研究成果報告書(経過と結果)、及び助成金の使用状況についての収支報告書(証拠書類添付)を助成決定後1年以内に提出する。

研究終了後、日本医学放射線学会誌に原著論文、または他学術雑誌に出版された論文の抄録を発表する。その際本研究助成金制度を受けた事を表記する。

デジタルマンモグラフィに関する緊急勧告(3)

平成 17 年 3 月

(社)日本医学放射線学会 乳房撮影委員会
担当理事・乳房撮影委員会委員長 石垣 武男

(社)日本医学放射線学会乳房撮影委員会では「デジタルマンモグラフィのモニタ表示と精度管理に関する専門小委員会」により、モニタ診断に関する検討を進めているところである。

平成 16 年度における検討の結果、マンモグラフィのモニタ診断に関し、以下の緊急勧告を行う。

すなわち、デジタルマンモグラフィのモニタ診断には、適切な機器を使用することが必要であり、現在検討を進めているところである。しかしながら、いわゆる 1メガ(1,280 × 1,024)汎用カラーモニタを用いてのマンモグラフィの読影に際しては、たとえデジタルデータとして原画像の容量を保持していても、2 倍程度のズームングでの観察では診断には不適であることが読影実験から明らかである。したがって、デジタルマンモグラフィを導入して稼働させている施設、あるいは導入を予定している施設においては、留意のうえ対応していただきたい。